

多言語対応オリジナル観光マップ制作

代表者 大塚 すず (法学部法学科 2 年)

1. 目的と概要

この事業では、男木島を訪れた観光客に役立てていただくことを目的とし、多言語マップを作成した。今年度は、日本語版、英語版、中国語版の 3 種類の観光マップを作成した。



作成したマップには、QR コードを掲載することで Instagram と連携させて、男木島の観光地の紹介を行った。マップの紙面上で紹介するだけでなく、Instagram の投稿でも見ることができるようになることで、男木島を訪れる際のイメージを掴みやすくする効果を期待できる。この完成したマップは、高松市内の各所に設置する予定であり、特に香川県の玄関口である高松駅に設置することで、観光客に男木島をより身近に感じていただき、男木島に訪れていただくことに繋がると期待している。

また、作成したマップには、マップに関するアンケートの QR コードも掲載しており、マップを利用した感想や、良かった点、不便だった点などの情報を利用者から提供していただき、今後のマップの改善に役立てようと考えている。このアンケートのなかには、マップ利用者の年代などを問う項目があり、現在、男木島を訪れている観光客のなかでどの年代が多いのか、どのような年代の人々が男木島に興味を持っているのかなど、様々な情報を得るこ

とができるため、このマップは男木島の観光の現状を知ることにも繋がると考えている。

男木島の観光の現状を知り、その結果を分析することで、来年度からの私たちの活動に向けても役立つものになることを期待している。

2. 実施期間（実施日）

令和5年6月28日（事業採択日）から 令和6年2月末日まで

3. 成果の内容及びその分析・評価等

今年度の活動では、男木島を紹介するための日本語版、英語版、中国語版の3種類の多言語マップを完成させることができた。この観光マップにより、男木島を観光する際に必要な情報を多言語で提供することが可能になり、国内外の様々な地域から男木島を訪れる観光客の利便性の向上に寄与することができた。高松駅などの高松市内各所にこのマップを配置することで、観光客が男木島を訪れる際の情報アクセスがこれまで以上に容易になると期待している。

また、マップのQRコードをInstagramの投稿と紐づけたことで、男木島を訪れる観光客が、男木島のイメージを事前に把握しやすくする効果も期待できる。

さらに、この事業の成果について分析することや、観光客のニーズや要望を把握するために、マップに関するアンケートのQRコードも掲載した。このことにより、これからの男木島の観光や、このマップの改善の方向性を明らかにすることにつなげたい。特に、男木島の観光スポットの魅力やアクセス情報に関するフィードバックは、男木島の観光資源を活かす際に、貴重な情報となるため、来年度以降はこの結果を踏まえて、男木島の観光の改善や新たなマップの作成に活用していきたい。

5. 自分たちの学生生活に与えた影響や効果等

この事業に取り組むなかで、企画力や実行力を身につけるだけでなく、地域の観光振興に対する理解や考え方を深めることができた。また、この事業の遂行に向けて、企画や実施に携わることで、チームワークやコミュニケーション能力など、今後自分たちが社会に出て活躍していく際に欠かせない様々な資質やスキルを向上させることができた。

また、マップの作成に取り組むなかで、男木島の観光地としての潜在的な魅力や課題を把握することで、地域に存在する文化や歴史、観光資源の価値について新たな気づきを得て、地域の魅力をより深く理解することができた。さらに、地域社会へ貢献することの重要性を再確認することができた。

6. 反省点・今後の展望（計画）・感想等

この事業への取り組みについての反省点として、プロジェクトメンバー間の連携不足が大きな課題となった。この連携不足により、マップの作成方針の決定がスムーズにいかず、当初の予定よりもマップのデザインや印刷に時間を要することになった。この課題の原因はメンバー間のコミュニケーション不足や役割分担の明確化が不十分だったことにあると考えているため、対面でのミーティングを定期的で開催してメンバー間の情報共有を

強化、フィードバックを徹底するだけでなく、予めプロジェクトメンバー各々の役割を明確にするべきであった。今年度に明らかとなった反省点から、役割分担を明確にすることで、今後、課題解決を図りたいと考えている。

今後の展望としては、新たな言語版での観光マップの作成や、男木島観光協会をはじめとした関係各所との連携を深めること、マップを活用した私たち主催のイベント(現状ではフォトゲイニングを構想)を行うことを検討している。

今年度の活動で得た学びや課題を踏まえて、来年度も継続してこの事業に取り組み、男木島の魅力をより幅広く発信し、観光客の満足度を高めるための活動に取り組んでいきたい。

7. 実施メンバー

代表者	大塚 すす	(法学部 2年)		
構成員	大野 璃子	(法学部 2年)	枝川 姫菜	(教育学部 2年)
	中井 美優	(創造工学部 2年)	河原 宏樹	(経済学部 1年)
	坂越 翔陽	(経済学部 1年)	進賀 堅太	(経済学部 1年)
	前田 透吾	(経済学部 1年)	得能 理加	(経済学部 3年)
	日野 友莉香	(経済学部 3年)	濱岡 優羽	(経済学部 3年)
	山下 真由	(経済学部 3年)	岸上 日菜	(創造工学部 3年)
	石井 心	(経済学部 2年)	田中 春名	(経済学部 2年)
	浅居 美行	(経済学部 1年)	岩田 空弥	(経済学部 1年)
	緒方 彩七	(経済学部 1年)	岡野 杏香	(経済学部 1年)
	岡本 陽奈	(経済学部 1年)	滝本 桃果	(経済学部 1年)
	武内 みなみ	(経済学部 1年)	橋本 朔	(経済学部 1年)
	藤田 葵	(経済学部 1年)	藤谷 円花	(経済学部 1年)
	古井 駿成	(経済学部 1年)	宮田 知依	(経済学部 1年)
	川淵 功誠	(創造工学部 1年)	桑原 美佑	(教育学部 1年)

8. 執行経費内訳書

配分予算額		200,000円		
執行経費(品目等)	数量	単価(円)	金額(円)	備考
デザイン料	1	88,000	88,000	
交通費(高松港-男木港)	4	1,020	4,080	
マップ印刷費用	3	25,340	76,020	
合計			168,100	